

初版	平成 25 年 2 月 16 日	第 2 版	平成 25 年 5 月 19 日	第 3 版	平成 28 年 2 月 27 日
第 4 版	平成 28 年 7 月 31 日	第 5 版	平成 28 年 11 月 9 日	第 6 版	令和 4 年 2 月 19 日
第 7 版	令和 6 年 2 月 17 日	第 8 版	令和 8 年 2 月 21 日		

狛江市軟式野球連盟所属チーム各位

狛江市軟式野球連盟  
会長 岡川 清明

## 狛江市軟式野球連盟大会規則

狛江市軟式野球連盟（以下：連盟）大会規則についてお知らせします。大会が楽しく開催されるように、所属チーム各位におきましては、下記事項を遵守するようお願い申し上げます。

### 記

#### 1 グラウンドルール

##### 1) 試合時間：

- ① 準決勝までは 7 回の攻撃を終了した時点で試合終了とする。ただし試合開始より 1 時間 30 分経過した場合は新しいイニングに入らない。
- ② 決勝戦は 7 回の攻撃を終了した時点で試合終了とする。(時間制限は設けない。)

##### 2) コールドゲーム：

以下の条件のいずれかを満たした場合、試合終了とする。

- ① 3 回終了以降で 10 点差以上ついた場合。(準決勝まで。)
- ② 3 回終了以降で 15 点差以上ついた場合。(決勝戦のみ。)
- ③ 5 回終了以降で 7 点差以上ついた場合。(準決勝まで。)
- ④ 5 回終了以降で 10 点差以上ついた場合。(決勝戦のみ。)
- ⑤ 降雨、暗黒、その他の理由により連盟が試合続行不可能と判断した場合。  
(4 回を終了している場合は、その点差により勝敗を決める。)

##### 3) ボールデットライン関連の判定：

- ① ファウルフライ捕球後、プレイヤーがボールデットライン（図 1 参照）をまたいだ場合は、捕球の有無に関わらずファウルボールとする。**※ボールの深追いによる車輛との衝突事故防止のため。**
- ② 送球がボールデットラインを超えた場合は進塁が 1 つ認められる。  
ただし、打者走者の場合は 2 塁までの進塁となる。  
(例：ランナー 1 塁で内野ゴロをファーストに悪送球した場合はランナー 2・3 塁で再開する。)

##### 4) ホームラン、エンタイトル進塁打：

打球がグラウンド南側にある草むら（図 1 参照）に直接入った場合はホームランとし、1 度フィールド内にバウンドして草むらに入った場合はエンタイトルとして進塁が 2 つ認められる。その他についてはプレイを続行する。

##### 5) 判定への異議申し立て：

判定への異議申し立ては参加チームの監督 1 人のみしかできない。

##### 6) ユニフォーム：

ユニフォームは全員同色、同種類とする。(原則として)

監督の背番号は 30 番、主将の背番号は 10 番としメンバーは 30 番以内とする。(原則として)

##### 7) コーティシーランナー：

走者が負傷した場合、治療の間にコーティシーランナーを出場させることができる。

- 8) 投手のウォーミングアップ：  
初回 7 球、2 回以降は 3 球とする。
- 9) ヘルメット：  
打者、走者はヘルメットを必ず着用すること。
- 10) 捕手：  
捕手は守備中にヘルメット、レガース、プロテクターを着用すること。
- 11) 防具の欠如：  
上記に定めた防具に 1 点でも不備がある場合は不戦敗となる。

## 2 大会

### 2.1 春季大会

- 1) 運営方法：  
最大 8 組のブロックに分かれて実施する予選リーグと各組を勝ち残ったチームによる決勝トーナメントで優勝チームを決定する。
- 2) 予選リーグ：  
抽選会にて定めたリーグ戦を各組で実施し、同会にて定めた順位のチームが決勝トーナメントに進出する。順位は以下の方法で決定する。(優先順位が高い方より記載。)
  - ① 勝数
  - ② 当該チーム同士の対戦成績
  - ③ 失点数 (少ない方が上位)
  - ④ 得失点差 (多い方が上位)
  - ⑤ 抽選
- 3) 決勝トーナメント：  
各組を勝ち残ったチーム (計最大 16 チーム) によるトーナメント戦で優勝チームを決定する。試合終了時点で勝敗が決定しない場合は以下の方法で勝敗を決定する。
  - ① 準々決勝まで：抽選 (フィールドプレイヤー9 人によるジャンケン。順番は守備番号順。)
  - ② 準決勝：延長戦 (タイブレーク方式。無死 1・2 塁、継続打順より開始。尚同点の場合は次打者より同様とする。)
  - ③ 決勝：最大 2 回までの延長戦を実施し、それでも同点の場合はタイブレークを実施する。1 死満塁、打者 3 番より開始。尚同点の場合は次打者より同様とする)

### 2.2 秋季大会

- 1) 運営方法：  
参加チームによるトーナメント戦で優勝チームを決定する。また、1 回戦またはシードチームとの対戦の 2 回戦の敗退のチームによる敗者復活トーナメント戦を別途実施し、勝ち残ったチームを 3 位とする。(参加チームが最低 2 試合実施できるよう考慮する。)
- 2) 勝敗決定方法：  
試合終了時点で勝敗が決定しない場合は以下の方法で勝敗を決定する。
  - ① 準々決勝まで：抽選 (フィールドプレイヤー9 人によるジャンケン。順番は守備番号順。)
  - ② 準決勝：延長戦 (タイブレーク方式。無死 1・2 塁、継続打順より開始。尚同点の場合は次打者より同様とする。)
  - ③ 決勝：最大 2 回までの延長戦を実施し、それでも同点の場合はタイブレークを実施する。1 死満塁、打者 3 番より開始。尚同点の場合は次打者より同様とする)

### 3 塁審派遣（2024年度大会より変更）

参加チームによる派遣を廃止し、連盟審判部の担当に変更する。

### 4 試合の準備・後片付け

#### 1) メンバー表の提出：

メンバー表は試合開始時間の 30 分前までに連盟事務局に**※3 部(主審用、相手チーム用、保険会社提出用)**提出すること。

#### 2) 試合球の提出および試合時の管理（2024年度大会より適応）：

① 参加チームは試合毎に試合球を 2 個提出する。

【指定ボール】

●ケンコーボール M 号(2023 年度公式球)

●トップボール M 号

② ボールパーソンおよびロストボールの捜索は攻撃側チームが担当する。

③ ボール紛失時には参加チームよりその都度試合球を追加する。(新古球も可)

#### 3) ベンチの運搬：

第 1 試合実施のチームは試合開始前にベンチを所定の場所に運搬すること。

最終試合実施のチームは試合終了後にベンチを所定の場所に片付けること。

#### 4) グラウンドの整備：

グラウンド整備は原則勝利チームが実施すること。(連盟から指示がある場合にはそれに従うこと。)

### 5 グラウンド内でのマナー

#### 1) **【重要】グラウンド内を車両で走行する場合は砂煙が立たないようにアイドリング走行を実施すること。**

**※目安は時速 10 ㎞以下。**

**※連盟より 2 回注意を受けた車両は以降のグラウンドの通行を禁止する。また、チームで合計 3 回注意を受けた場合は(複数の車両であっても)当該チームの車両全部を通行禁止とする。**

2) グラウンド内に駐車できる自動車は、連盟より配布された駐車標をダッシュボードの見えやすい所に置いてあるもののみである。

3) 自動車、自転車、原動機付自転車はグラウンド内の指定の場所に停めること。(図 1 参照)

**※決して車両通行エリアや一般車道に停めないこと。**

4) **会場内では禁煙とする。**

5) ごみは各自で持ち帰ること。

6) その他、連盟からの注意／警告を遵守すること。

### 6 その他

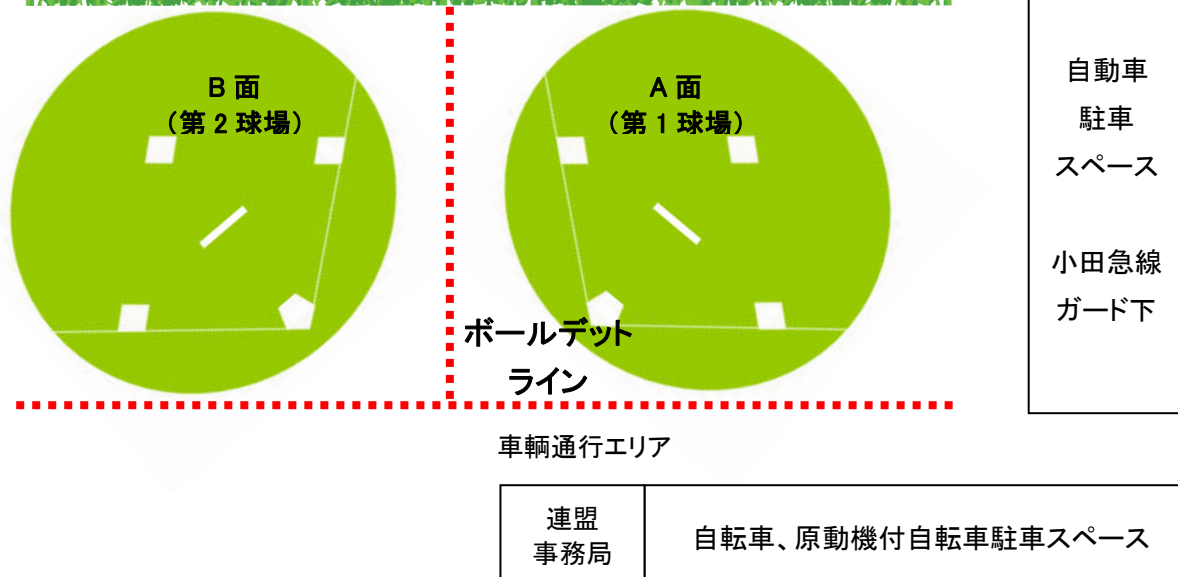
1) 雨天の場合の試合開始については第 1 試合の 1 時間前に決定する。

2) 連盟は病気その他の理由により審判員を交代とできる。

3) グラウンド内に駐車できる自動車は、連盟より配布された駐車標をダッシュボードの見えやすい所に置いてあるもののみである。

**※ 上記を著しく遵守していない、または大会運営に深刻な支障を来す恐れがあると判断されたチームまたは個人に対しては、連盟が総会・運営会議または大会会場で嚴重注意処分または懲戒処分を科すことがあります。**

図1 狛江市多摩川緑地公園グラウンド 上が南（登戸）方向



以上